

私の写真館

私の日々の活動の中から皆様に伝えたいことを写真に現します。

私たちの住む延岡は、これまでたくさんの災害に遭遇してきました。ここ数年、大型台風や竜巻が発生したのも地球温暖化の影響があると言われてしています。

昨年の流木撤去作業の時には、たくさんのボランティアの参加がありました。とても素晴らしい事ですが、そのことを『市民力』と言っていることに少し違和感を感じています。確かに『市民力』であるかもしれませんが、5年、10年先をみて知恵を出し、災害を事前に予防することに市民の力を注げないだろうかと考えます。



平成19年度の歳出のうち災害復旧事業に515,204千円もの予算があてられました。全てが流木関係の費用ではありませんが、流木被害を事前に防ぐことはできないのでしょうか。延岡市の総森林面積は73,307haあります。宮崎県は林道進捗率日本一、スギの素材生産量日本一など、山との関わりの深い県です。林道の進捗に伴い利便性が向上しますが、作業道の開設により山林崩壊が引き起こされているのも事実です。流木災害を防ぐ有効な方法は、全開した後の残材が谷の周りなどに放置されないようにすることです。

これらの残材は大雨が降れば流れ出し災害の原因ともなります。山で引き起こされた災害は海まで影響を及ぼし、市民生活にも無縁ではありません。人工林管理の強化、雑木林の保全など、山をあるべき姿に戻し、緑のダムとしての機能や森林セラピーなどの癒しの場として育てていくことも大切なことだと思います。



谷の側に放置された残材



崩壊した作業道



放置された切りくず



谷の方へ崩れ始めた残材



作業道より崩壊が始まる

平成10年森林法改正で森林整理に関する市町村の役割と権限が強化され、地域の森林管理は市町村が主導的な役割を果たすことになりました。

独自の条例や構想、計画の策定をした愛知県豊田市は、合併後に広大な森林の保全と活用を図るために、市独自の森づくり政策をまとめる取り組みを始めました。災害から逃れないこの延岡こそ森林づくりのプロジェクトチームを立ち上げ、基本計画を策定するなど延岡独自のホームメイド的な森づくりを進めるべきだと思います。市民に森林づくりの応援団を募ること、優遇税制などで森林の保全を促進し、川や海に恵みを返してもらうこと。流木を堆肥、炭など土壌活性剤や燃料として再利用することも考慮しなくてははいけません。

私は、市民が健康で安心な生活が送れるよう、何事にも意欲的に取り組める環境を構築することに努めたいと思います。

うちだりさ後援会事務所のご案内

〒882-0856
延岡市出北町1丁目23-11
電話 & FAX 0982-31-5072
H.P <http://uchidalisa.com>



携帯電話からは左のQRコードを読み込んでアクセスできます。



お知らせ

ホームページに「議会報告」と「視察報告」を追加しました。日々の活動もブログで報告。ぜひ、覗いてみてください。

